

保険証が四月一日からかわります

新しい保険証は、はだ色に変わります。
みなさんが使用している保険証は三月三十一日で無効となり四月一日からは新しい保険証(はだ色)に変わります。
学生・長期旅行者、冬期出席者の中で特別に期限をもうけ、別個の保険証(青)を交付されている人は、期限終了後忘れずに返してください。
新しい保険証は三月下旬に交付しますので古い保険証を必ず返してください。
保険証のとり扱い
一、内容を確かめておく
交付されたら記入事項に間違いがないかどうかを確かめ、裏面の注意事項をよく読んでおきましょう。
二、必ず手元に保管する
お医者さんの診察がすぐなら必ず手元に保管するようにしましょう。預け放しは紛失



火災続発

十日町市および中魚沼郡内で一月からすでに七件の火災が発生しています。これは、過去にない発生状況です。
暖冬といわれる今年、暖房器具に起因する火災が多く発生しています。火災のほとんどがちよつとした気のゆるみや不注意で発生するといわれています。もう一度、わが家の防災について考えてみましょう。
▲火の用心 心で用心 目で用心▼

農地の売買賃借は 慎重措置のある 農業公社にて

公社は、市町村の農用地利用増進計画により、農家の方の合意を得ながら、売りたい人の農地を買い入れた保有し、規模拡大を望む中核的農業者に再配分するなど農用地の有効利用を図っています。
詳しくは、村農業委員会にご相談ください。
◎新潟県農業公社
☎〇二五二二二二二二四一

お祝い電報は お早め!

三日前までにおうちになると百五十円お得です。
花だよりとともに、待ちに待った春の結婚シーズン到来です。
シーズン中の大安吉日には数十組の新婚カップルが誕生し、ういういしい花嫁、花婿あてに、お祝い電報が数百通

新潟県下の最低賃金

★新潟県最低賃金
一日……三千五十三円
一時間……三百八十二円
◎全産業に適用
★繊維産業
一日……三千六百六十一円
一時間……三百九十六円
◎ただし左記のものを除く
一、糸織り、糸始末、清掃その他これらに準ずる軽易な業務に主として従事するもの。
二、メリヤス製品縫製業または衣服、その他の繊維製品製造業に係る者
ただし、一、和装品製造業の

うち和服製造業、縫製に係る業務に従事する者であつて雇入れ後九カ月未満の技能習得中のものについては新潟県最低賃金が適用

★木材、木製品、家具、装備品製造業
一日……三千四百九十三円
一時間……四百三十七円
◎ただし、左記のものを除く
一、木箱作り(魚箱造り、リソグ箱造りに限る)、袋詰め、清掃、片付け、随いその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者
二、家具製造、建具製造に係る者であつて、雇入れ後六カ月未満の技能習得中のもの
一日……三千七百六十八円
一時間……三百九十七円
詳しく知りたい方は
十日町労働基準監督署
(☎三五五二二二〇七九)

農業用軽油免税証の交付

農業用軽油に対する免税証の交付を次のとおり行います。該当される方は忘れずに交付を受けてください。
★日時 3月18日(木)
午前10時～午後4時
★会場 中里村役場(議場)
★必要書類
①印鑑(共同申請の場合は全員の印鑑)
②免税軽油使用者証
③耕作面積証明書(農業委員会にて証明を受けてください)
④使用機械の証明書(税務課)
★その他
申請用紙は、十日町財務事務所にあります。不明な点は十日町財務事務所へお問い合わせ下さい。
(TEL 02575-7-5511)

人生往来

おめでた

鮎子(浦井 誠二)	上山
奈美(山田 一夫)	土倉
伸二(渡辺 保幸)	高道山
奈美江(鈴木 進)	角間
昌子(樋口 良隆)	白羽毛
裕樹(太島 憲二)	上山
奈保美(樋口 正博)	朴木沢
隆志(南雲 市郎)	堀之内
綾子(山田 満)	通り止

ご結婚

山田 勇	東田 尻
桑原テイ子	東田 尻

おくやみ

山田国三郎	土倉
村山ソノ	田 沢
島田のふ江	田 中
田中 正野	上 山
富井トシエ	市之越
羽鳥五郎市	新屋敷

編集後記

いま新年度予算が定例村議会で審議されています。来年度も統合中学校建築の継続をはじめ、各種の事業が計画されています。
先般の社会福祉に関するアンケート調査結果では、行政依存度が三六%と高くなっています。しかし、行政の厳しい今後は、個人や集落で対応できるものは積極的にやるといった姿勢が村づくりのポイントになるのではないのでしょうか。

私たちの村の ()内は前月比
□人 □ 7,113 (±0)
男 3,534 (-1)
女 3,579 (+1)
□世帯数 1,655 (-1)

《主な内容》

- 2-3ページ…交通安全特集
- 4ページ…12月号本誌通覧
- 12頁(白羽毛) 新築住宅白書
- 5ページ…社会福祉アンケート
- 6ページ…田中村地産地消協会
- 7ページ…16名(宇川) 新春合演やせ
- 8ページ…お知らせ



おひなさまになつたみたい
かわいでしよう



手をあげて左右の安全たしかめて

事故防止

家族みんなで交通安全

市町村別交通事故発生件数

市町村別	55年			56年			57年		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
中里村	14	4	17	16	2	20	8	0	8
十日町市	130	2	151	88	2	104	109	1	130
津南町	20	0	26	21	0	23	25	1	31
川西町	30	2	70	18	1	22	18	2	19
合計	194	8	274	143	5	169	160	4	188

新湖県人口二百四十五万七千人の約六・三倍に達しています。こうして見ますと、現在は、まさに交通戦争時代とい

村人口の二・二倍が死亡

昨年全県で発生した交通事故件数は、五万一千七百三十四件で、死者九千七十三人、傷者六十二万四千九百七十四人となっています。昭和二十一年から昭和五十七年までの交通事故死者数は、千五百四十六万人に達しています。この数は、新湖県人口二百四十五万七千人の約六・三倍に達しています。こうして見ますと、現在は、まさに交通戦争時代とい

交通事故それは、一瞬にして、幸福な家庭を悲しみのどん底に陥れさせる。毎年、全国で九千人に近い人たちの生命が交通事故で失われています。当村でも交通事故で昭和五十五年は四人、昭和五十六年に二人という尊い生命が失われました。失われた生命は、二度と帰ってきません。みんなの心掛けて交通事故を防止しましょう。

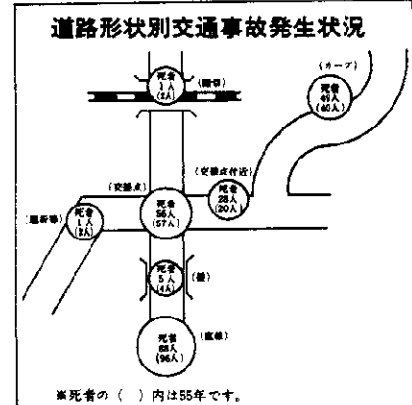
これも、五十五年、五十六年で六名の尊い生命が失われた教訓がみなさんの中で生き続けているからだと思います。

五十六年中に県内で発生した交通事故原因を、車・自転車・歩行者別にみますと車側で一番多い事故原因はわき見運転によるもので、次いで一時不停止・操作不適當・安全速度違反となっています。最近、著しく普及してきた自転車による事故原因のトップは一時不禁止次いで飲酒運転となっています。



こうして見ますと、いかにわき見運転や前方不注意による事故が多いことがわかります。いくら前方を見ていても考えごとをしたり、悩みごとなどがあると、前方に注意が集中しません。車に乗るときは心を落ちつけ、車の運転に集中しましょう。

事故発生件数の多い月は、八月、十月、七月となっております。八月をピークに下半期に多くなっています。また、死亡事故発生件数の多い月は、海水浴やお盆を中心とする八月、夕暮れの早まる十一月、春の行楽シーズンの五月にレジャー関係事故や夜間事故が多発しています。深夜の事故は死亡事故につながる率が多くなっています。くれぐれも注意しましょう。



※死者の()内は55年です。

心のゆとりで

交通指導員の視点

村内で起きる事故を一件でも減らそうと、交通安全協会の役員や交通指導員のみなさんが村内を巡回しています。村では、毎月十日を交通安全家庭の日、二十日を飲酒運転追放の日に設定し、事故防止につとめています。交通指導員のみなさんが、日ごろ村内を巡回し感じていることを聞いてみました。

- ★原付バイク★
 - お年寄りや運転に自信のない女の人のフラツキ運転が目立つ。
 - 交差点の直前で右左折をする人がいる。
 - ヘルメットを浅くかぶっていて顔をだしている。(役に立たない)
 - 自転車と同じような気持ちで乗っている人が多いように見られる。
- ★自動車★
 - 狭い道路でのスピードの出しすぎ。
 - 路切りなどで一時不禁止。
 - 雪水や泥水のはねあげ。
 - ★自転車★
 - 小さな道から大きな道へ出るときの一時不禁止。
 - 交差点の曲り方がまちがっ

ている人が多い。★その他★屋根の雪を道路に落して、そのままにしておくと、お年寄りが早く雪を処理し、歩行者が道路の端を通れるように心がけてもらいたい。こうした一人一人の心がけで交通事故を少しも減らしたいものです。



自転車の正しい乗り方知ってますか

原付バイクは、五十七年では、村内に五百五十七台しかなかった原付バイクが昭和五十七年には千七百六十六台に急増しています。しかし、その反面原付バイクによる事故が増加しています。昨年発生した事故の二件に原付バイクがからんでいます。



交通戦争を忘れない
中里村安全協会会長
山田周平さん

「交通戦争」という言葉をよく耳にします。「戦争」この言葉は、2度と聞きたくなく、また、口にしたい言葉です。

終戦の翌年昭和二十一年～五十七年までに交通事故で死傷した人の数は、約1,500万人といわれています。一方、明治27年の日清戦争から大太平洋戦争、いわゆる日本戦争史上の戦傷死者数は547万人となっています。こうして見ますと、実に交通事故死傷者が戦争犠牲者の2.7倍になっているのに驚きます。

一瞬のうちに、幸福な家庭を地獄の底におとし入れる交通事故を、みんなのちょっとした心がけで減らしたいものです。

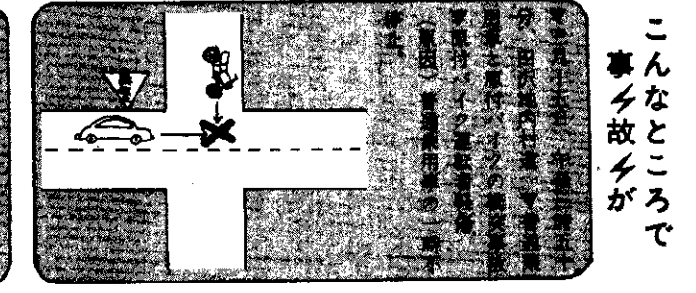
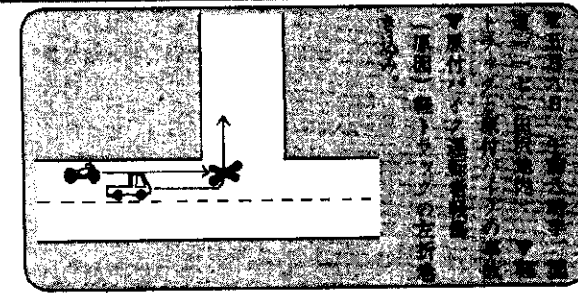
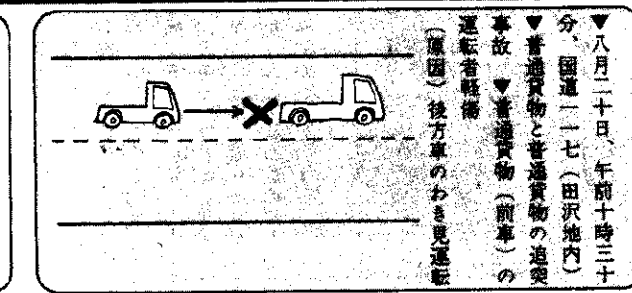
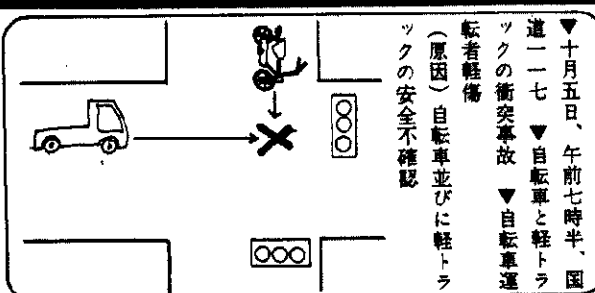
目下、中里村では交通事故死者ゼロ日が500日を超えています。更にこの記録を更新したいものです。



春近し、事故防止
十日町警察署倉俣駐在所
大平哲朗さん

3月になりますと、寒雪に閉ざされていた人々の解放感が車の運転にも現われ、例年子どもやお年寄りの事故が多く見られます。中里地区では、朝夕の冷え込みによる路面凍結や雪のために道路の幅員が狭くなっていることを考えますと、開放的な気持ちで車の運転を行うことは、重大事故の原因になりますので、スピード等はひかえ目に運転をしてください。また、今まで雪のために、あまり外に出なかったお年寄りや子どもたちが、とび出し事故等に会わないように、家族みんなで注意しましょう。

「自分だけは大丈夫」と思っていないか。その油断が事故につながります。春近しといっても、常に用心を怠らないように十分注意しましょう。



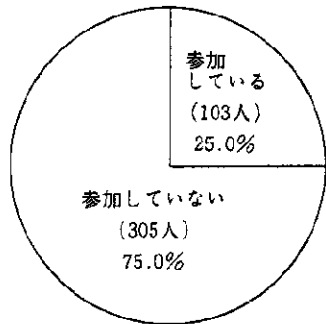
こんなところで
事故が多くなる

アンケート集計抜粋 〈回答数408〉

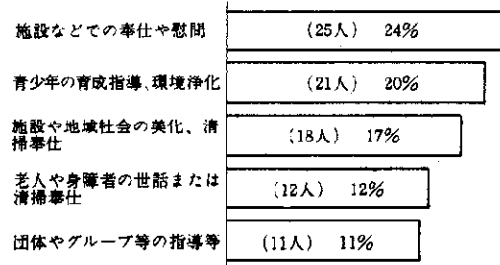
少ない社会活動

中里村社会福祉協議会では、昨年末、社会福祉に関する意向調査を実施いたしました。この調査は、民生委員（18人）を通じて500枚の調査書を村内に配布し、回収したものです。2月20日現在、回収された408枚（81%）についての結果をお知らせいたします。

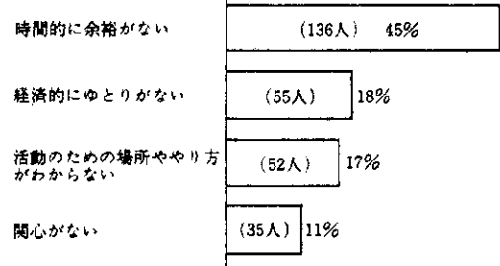
Q1. 現在なんらかの福祉活動や社会活動に参加していますか。



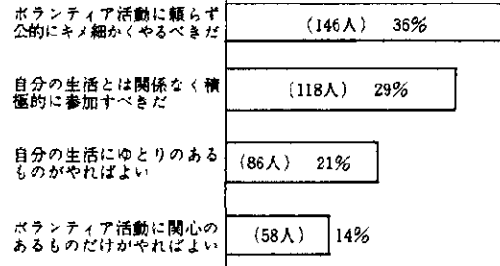
Q1-1. Q1で参加していると答えた95人の活動内容（上位5）



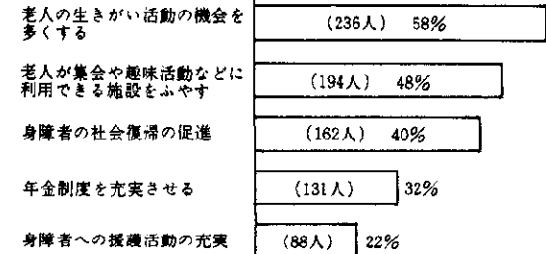
Q1-2. Q1で参加していないと答えた278人の理由（上位4）



Q2. 福祉活動やボランティア活動への参加についてあなたはどうお考えですか。



Q5. 今後、老人および身障者福祉をすすめる上で、どのような面に力を入れた方がよいと思いますか。3項目に○印を。（上位5）



質問一 福祉活動や社会活動に参加していますか。
参加していると答えた人が二五％、参加していないと答えた人が七五％となっています。参加していると答えた人の年代を見ますと、五十代が三五％、六十代が二七％と多くなっています。活動の内容としては福祉施設での奉仕や慰問、青少年の育成指導、施設や地域社会の美化が多くなっています。活動をしていない人の理由は、一、時間がないう、二、経済的にゆとりがないことをあげています。

質問二 ボランティア活動についてどうお考えですか。
ボランティア活動にたよらず公的にキメ細かくやるべきだと答えた人が全体の三六％、自分の生活とは関係なく積極的に参加すべきだと答えた人が二九％、自分の生活にゆとりのあるものがやればよいと答えた人が二一％、ボランティア活動に関心のあるものだけがやればよいと答えた人が一四％です。

質問三 老人および身障者のための福祉サービス事業を知っていますか。
約半数の人が、老人医療費支給事業、老人健康診査、老人ホームへの収容（六八％）、老人福祉センターの活用（六三％）、特別養護老人ホームへの収容（三六％）、四、精神薄弱者更生施設への収容（三五％）、五、老人いこいの家の利用（三四％）などを知っています。

質問四 老人および身障者のための福祉サービス事業を知っていますか。
約半数の人が、老人医療費支給事業、老人健康診査、老人ホームへの収容（六八％）、老人福祉センターの活用（六三％）、特別養護老人ホームへの収容（三六％）、四、精神薄弱者更生施設への収容（三五％）、五、老人いこいの家の利用（三四％）などを知っています。

質問五 今後、老人および身障者福祉をすすめる上で、どのような面に力を入れた方がよいと思いますか。
一、老人の生きがい活動の機会を多くする（五八％）、二、老人が集いや趣味活動などに利用できる施設を増やす（四八％）、三、身障者の社会復帰の促進（四〇％）、四、年金制度を充実させる（三二％）、五、身障者への援護活動の充実（二二％）となっていました。

質問六 年をとった親と子ども夫婦の暮らし方は、
八二％の人が同居して親の面倒を見ています。別居して親の面倒を見る人は七％、わからない人は六％、別居してそれぞれ独立した生活をする人は三％、老人ホームなど施設で暮らした方がよいと答えた人は二％です。

質問七 中里村に社会福祉協議会のあることをご存知ですか。
八五％の人が社会福祉協議会を知っていると答えています。

まとめ 県政世論調査（五十六年七月）ですと、社会奉仕活動への参加率が七・八％、中里村二五％、社会福祉活動には自分の生活とは関係なく積極的に参加すべきだとした人が二二％（中里村二九％）となっています。こうして見ますと、中里村はボランティア活動等について関心が高いといえます。しかし、ボランティア活動にたよらずに公的にキメ細かくやるべきだと答えた人が世論調査の二一％に比べ三六％と多く、行政依存度がつよいことがわかります。

山の神への祈り

「12講」という行事をみなさん知っていますか。白羽毛集落では、この「12講」を今でも行っています。

昭和30年ころまでは、「ミヤマ」といって山に春先ソリをひいてたき木を取りに行ったものです。こうしたことから山の災のないことを山の神様に祈ったのが「12講」です。毎年2月12日の朝飯前に、弓を2本、矢を12本、ツツッコ（ワラで作った入れものの中に米の粉で作った「からこ」を12個入れておく）を持って神社に集まり、上の方に向けて「カラスの目んだくだまスットーン」といって矢を空に放つものです。この時、言葉はその地区によって違い「12山の神スットーン」「テニグリテニグリスットーン」ともいいます。山の神様に捧げる「からこ」は、男衆が自分で作らないといけないといわれています。その訳は、山の神様は女の神様で女の人が作ると「しつと」といわれています。



カラスの目んだくだまスットーンと叫ぶ



バスは、上越新幹線の越後湯沢駅停車に伴い、地元町の町

バスは、上越新幹線の越後湯沢駅停車に伴い、地元町の町（中里村、津南町、栄村）が越後湯沢までの定期バスの運行を

四月一日から念願の森宮野原まで越後湯沢間に定期バスが一日三往復運行される予定です。

越後交通株式会社に申し入れたことから実現となったものです。この間は、急行バスが通り、森宮野原まで越後湯沢間を約七十分で走ります。

中里村地内の停留所は、清津峡入口（和泉屋旅館前）と角間までの各停留所です。清津峡入口から越後湯沢駅までは約四十七分で行きます。そうしますと、越後湯沢から大宮まで新幹線（あまひ号）で六十分、大宮駅での待ち合わせ時間二十一分、大宮から上野までのリレー号が二十六

十二峠にバス通る

分です。約二時間三十分で上野に着く計算になります。このバスの運行は、地元の人たちの便宜だけでなく、清津峡、七ツ釜、津南の大規模年金保養基地などを結ぶコースとして今後観光面などにおよぼす影響が期待できます。また、この路線は、昭和五十六年に十二峠トンネル、昭和五十七年に新清津峡トンネルが開通し、現在、角間から十二峠トンネルまでの法線の調査が十日町土木事務所の手で進められています。

7月中旬には復旧 清津橋

昨年台風18号で一部陥没し、仮橋による交互通行をしている清津橋の復旧工事が進んでいます。復旧工事は、中里村側の2番橋脚を取り除き、新しく46mの鋼桁に1番橋脚～3番橋脚）架けかえるものです。十日町土木事務所の工事工程では、7月の中旬には完成する見込みです。今回の総工費は約1億4,000万円となっています。



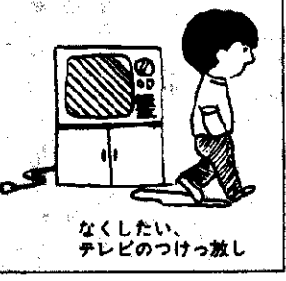
取り壊し中の2番橋脚

あと30年しかもたない 石油エネルギー

省エネルギーが叫ばれる中で石油資源があと三十年しかもたないといわれることが耳にします。昭和五十六年の世界の一次エネルギー消費量は、石油換算で約六十八億四九億トンに達しています。その内訳を見ますと、石油が全体の四三％、石炭が二九％、天然ガス一九％、水力六％、原子力三％となっています。



親子のスキンシップで省エネ入浴



なくしたい、テレビのつけっぱなし

こうして見ますと、世界で使用される一次エネルギーの半分を石油が占めていることがわかります。石油の埋蔵量は昭和五十七年一月時点で六千七百億バレルと推定されています。昭和五十六年の世界の年間生産量が二百四億バレルとなっているので、それを使い切ると、あと三十年しかもたないといわれます。私たちが生活の中で電気や石油は切り離せないものです。こうした限りある資源を長く利用するためには、みんなで「省エネ」を心がけなければなりません。限りある資源を私たちの子孫のためにたいせつに使いたしましょう。

日本の一次エネルギー消費量は、石油換算で約三億四億トンに達しています。内訳を見ますと、石油が全体の六五％、石炭が一八％、天然ガス六％、水力六％、原子力五％となっています。次に日本の全エネルギーの輸入依存度を見ますと、昭和五十五年で八四・二％、石油の輸入依存度は九九・八％に達しています。アメリカを見ますと、全エネルギーの輸入依存度一四・五％、石油の輸入依存度三四・四％に達しています。こうして見ますと、いかに日本がエネルギー資源のない国であるかがわかります。



新婚生活

「結婚したらケンカが少なくなかった」と話す、通り山の樋口孝行、京子さん夫妻を紹介し、二人の交際の始まりは、中学生時代に孝行さんに好意を寄せていた京子さんが友達を通して交際を申し入れたことからです。結婚生活は、思っていたより、家の事をよく

数珠に祈りをこめて 念仏

戦争中の苦しい生活の中でもやめなかつたという伝統のある芋川集落の、十六念仏が旧暦の一月十六日にあたる二月二十八日、公民館で行われました。この十六念仏は、仏様の正月といわれている一月十六日に行われた外に、村の中に疫病や災難が発生した時にも行い厄除けをしたといわれています。今でも善光寺からさずけてもらったといわれる「お



一心に祈る人たち

みょう様の掛軸があります。午後一時になると各家の女性が集まり念仏をとなえます。その後、長さ八メートルもある大きな数珠の周りに輪を作つて座り「ナムアミダブツ」となえながら十三回まわります。この時、自分のところへフサが回ってきたら、額の所まであげ拝みます。これが終ると集まった中で一番のお年寄りが数珠を小さな輪にまとい一人一人の背中を軽く三回たたきます。こうしてもらうと一年中健康で過ごせるといわれています。

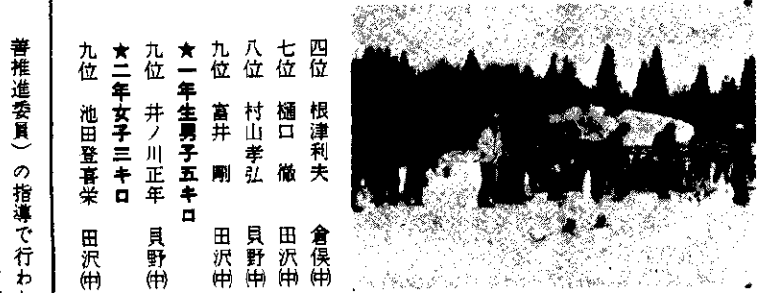
貧血は婦人の敵

治療よりも予防を健康管理室では、婦人の健康づくり事業を村内の二十集落で実施しています。二月二十八日は、田中集落で行われ、台所をうけもつ主婦など十四人が参加しました。この中では、貧血を予防する調理実習が、こぶし会(栄養改

治療よりも予防を健康管理室では、婦人の健康づくり事業を村内の二十集落で実施しています。二月二十八日は、田中集落で行われ、台所をうけもつ主婦など十四人が参加しました。この中では、貧血を予防する調理実習が、こぶし会(栄養改

郡

十日町、中魚沼郡中学校新人クロスカントリー(距離スキー)が、二月十七日、郡市の中学一、二年生約二百五十人を集めて、市之越で開かれました。



ヨシアルゾー

この大会の目的は、郡市内の中学生のクロスカントリー競技の技術の向上をめざしています。村内の中学校からは、三十九名が参加し、冷たい風の吹く中、それぞれ三キロ、五キロ、十キロのコースに挑戦し日ごろの練習の成果を発揮しました。

青春燃やせ

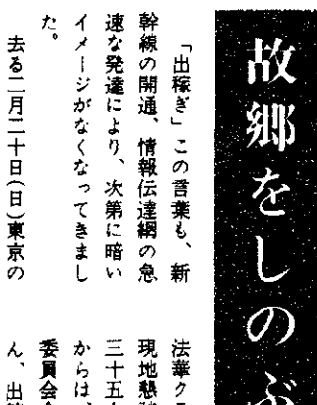
「いま夜の写真にこっているんです」と話す、十日町の朝日堂に勤務する、小山本明夫さんを紹介し、カメラを始め、今までに、県サロン展・入選、勤労者美術展・入選、フジカラーフォトコンテスト・入選、三軌展・入選という実績をもっています。写真をはじめたきっかけは「おやじが東京から中古のカメラをもらってきてくれたのをかまっていたうちにだんだんと興味をもちました。仕事も写真関係と伺いましたが「朝日堂の写真部で白黒の現

小山本明夫さん



故郷のことを知ろうと真剣な人々

先の話でもちきりでした。また、この会に清田山出身の山田義一さん(東京在住)が姿を見せ出席者と旧交をあたためました。今年、中里村から出稼ぎに出た人は、四百一五百人と推定されます。出稼ぎも年々減少しているようですが、出稼ぎ者の高齢化が進んでいます。若者の安定職業への移行を含め、雇用の場の確保を真剣に考えなくてはならない時代がきているといえます。



ビデオで家族の様子を知る

「出稼ぎ」この言葉も、新幹線の開通、情報伝達網の急速な発達により、次第に暗いイメージがなくなってきました。去る二月二十日(日)東京の法華クラブ(上野)で出稼者現地懇談会が開かれ、出稼者三十五人が出席しました。村からは、村長をはじめ、農業委員会代理、村山善作さん、出稼者相談員、江口行男さん等が出席しました。

みんなのひろば

おもしろい行事などがありましたら取材に行きます。連絡をください。
行・専・予・定
※変更することがあります。
※費用の際は担当課で確認を。

11(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00)
12(土)	農業栽培講習会(魚沼の産草栽培、大和町役場 14:30~17:00)
13(日)	地場野菜大放出青空市場(総合センター前 8:00~15:00) 雪上運動会(倉俣) 村民卓球大会(シングルズ・男女各ダブルズ・混合ダブルズ 田沢小 9:00~)
14(月)	休日救急医(津南病院 02576-5-3161) 高齢者講座(クラブ活動 10:00~12:00、閉講式 13:00~ 老人福祉センター)
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00)
19(土)	農地関係許可申請不切
20(日)	休日救急医(大島医院 02575-2-2957) 雪上運動会(市之越・田中・上山・幸沢)
21(月)	春分の日
22(火)	休日救急医(山口医院 02575-5-2003)
23(水)	肥満教室(中性脂肪とコレステロールの検査 保健センター 9:00~14:30)
24(木)	婦人健康づくり(対象者・宇沢婦人、宇沢公民館 9:00~14:00) 講演会(茶の間の法律・サラ金問題 相模 e: c 13:30~15:30 主催 商工会)
25(金)	心配ごと、行政相談日(老人福祉センター 13:00~16:00)
26(土)	
27(日)	休日救急医(中条病院 02575-7-3018) 村内学童視察クロスカントリースキー大会(距離スキー)市之越 9:30(予定)、2キロ・5キロ・8キロ
28(月)	
29(火)	
30(水)	婦人健康づくり(対象者・荒屋婦人、荒屋公民館 9:00~14:00)
31(木)	
1(金)	↑くらしの中の安全マークシートを配布します。心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) テレホンサービス(0252-67-7000) 「ハイ県くらしのダイヤルです」
2(土)	
3(日)	休日救急医(上村病院 2111)
4(月)	移動交通事故相談所(十日町市役所 10:00~15:00)
5(火)	
6(水)	
7(木)	
8(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00)
9(土)	
10(日)	休日救急医(津南病院02576-5-3161) 農業青年会、農地相談日(役場農政課)

停電・該当なし
表紙写真
ひなまつり(中里保育所)